

2017年8月のOPI国際会議発表前に個人的なトラブルがあって発表をやめようと思ったのだが、すでに航空券等を取っており、キャンセルしても返金できないので発表した。淡江大学でOPI国際会議での発表の後、すぐに、早稲田大学で行われた国際会議等に出て帰阪した。その様子を報告したい。

2017年8月4日8時30分関西空港発と早いフライトなので前日3日の夜、関空に行き、関空の待合所で一晩明かした。クーラーが効いていたので待合室で割と寝られた。翌日8月4日8時30分のフライトで台北へ。10時20分に桃園国際空港に着き、地下鉄で台湾駅へ。3月にできた地下鉄で台北市内へ、リムジンバスより快適で速い。移動に楽しかった。台北駅で地下鉄淡水線に乗り換えて淡水駅へ。駅から歩いて大学へ向かった。そして会場へ到着。ポスター発表以外は、発表をきかずに明日のプレゼンに備えて体力を温存した。そして、懇親会で、心行くまで台湾料理を食べまくり、懇親会后、台北駅の近くのカプセルホテルに泊まった。宿泊料金日本円にして1600円。寝るだけなら十分である。

そして翌日8月4日、8時にホテルを出て大学へ。9時30分に淡江大学に着いた。そして、10時40分発表、私の発表は、日本語教授法の開発のため、運動生理学の視点を入れたものだった。あまりにも斬新なのでどうかと思ったが、「案ずるより産むがやすし」「一か八かやってみろ」の精神で堂々とプレゼンをした。一応、何とか発表が終わり、疲れていたもので、午後からは他の人の発表をきかずに休憩室で休んだ。そして、夜には、羽田行きの飛行機に乗らなければならないので、国際会議が終わる少し前16時30分ごろ大学を出た。そして、地下鉄を乗り継いで桃園国際空港へ。20時45発の飛行機のはずだったが40分ほど遅れて出発。羽田空港へ向かった。羽田空港には深夜1時30分ごろ着いた。朝まで待合室で仮眠。そのあと、7th International Conference on Computer Assisted Systems For Teaching & Learning Japaneseの会議のある早稲田大学へ向かった。そして、会議に参加。そして会議の後、上野のカプセルホテルに泊まり、その日は終わった。

次の日8月6日、平成29年度日本語学校教育研究大会に参加のため代々木のオリンピックセンターへ。そして、その会議が終わって新宿で時間をつぶし、夜行バスで帰阪した。

ユニバーシアドの主催 FISU（国際大学スポーツ連盟）の会議のため 2017 年 8 月 26 日に関西空港 13 時 35 分を出て台北、桃園国際空港に向かった。13 時 50 分に到着。その後地下鉄で台北駅へ。ユニバの陸上競技観戦のため、台北に行く前に日本でインターネットで予約、支払いをすませている。あとは、台北のセブンイレブンで発券するだけである。台北駅のセブンイレブンのチケット発券の機械を探したが、セブンイレブンはいくつかあったが、発券の機械が置いていないところがなく、台北駅をうろうろ。1 時間かかってようやく機械のある店を探し、チケットを発券。それから台北駅付近で夕食を取り、地下鉄でスタジアムに行き陸上競技を観戦。こじんまりしたスタジアムなので観客と選手との距離が近く迫力があつた。1 時間ほど観戦後、台北駅前のカプセルホテルに宿泊。

翌日 27 日朝、FISU の国際会議の受付を済ませた。受付は空港並みにセキュリティーがきつく、大変だった。午後の国際会議の開会式の前に食事のある部屋へ。昼食を済ませ FISU の五十嵐先生に会って話をした。その後、会場で FISU 会長を見かけた。会長のオーラがすごく、やはりユニバの会長だなあと思った。

FISU の会長に話をしようと思ったが取り巻きがいて、なかなかできず、結局、FISU の会長と写真と一緒に撮るだけになってしまった。その後、開会式に出席した。オープニングセレモニーは国旗掲揚、台湾の歌などがあってフォーマルな式であったが、台湾のコマ回し等のパフォーマンス等もあり、メリハリの利いた式だったと思う。その日のプロムラムが終わり、レセプション会場へ。レセプションの会場は台北駅の近くのホテルであった。そして、レセプションが終わり、カプセルホテルへ。カプセルホテルの料金は、日本円にして何と 1300 円くらいだった。

次の日 28 日、発表である。8 時 40 分頃に到着。午後の私の口頭発表と 9 月のスポーツ言語学会学会大会のこともあって、休憩室で口頭発表の準備とスポーツ言語学会学会大会のことをした。そして、11 時過ぎ、ポスター発表の会場で昼食をとり、ポスター発表を見る。その時、筑波大学の院生と話をした。そして、16 時 30 分に私の発表。私の発表は何とか終わり、他の人の発表を聞いた。その後 17 時に始まる文化プログラムに参加。文化プログラムは、水泳、卓球、台湾ゴマの体験から一つを選ぶものであった。私は、台湾ゴマ体験を選択したが、なかなかうまく上手にコマを回せなかった。20 時に文化プログラムが終了。28 日のプログラムが終わりカプセルホテルのある台北駅へ向かった。

そして最終日 29 日、午前中、スポーツ言語学会の学会大会の準備のため控室で準備。午後にも食事とポスター発表以外は、休憩室でスポーツ言語学会のことをした。（後でユーチューブでキーノートレクチャー等を見たので問題はなかった。ただ、研究発表をきけず残念。）夜、さよならパーティーがあつて、た

またま同席した全国大学体育連合の小林先生、院生方と楽しいひと時を過ごした。そして、翌日の 29 日、昼の便で帰国した。

今回、スポーツ最大組織の一つ FISU の直接主催の会議で発表できてよかった。そして、FISU 関係の方と話ができよかった。「足を運ぶ」ことが大切だとつくづく思った。そして「百聞は一見に如かず」ということを FISU が教えてくれたと思う。2 年後のユニバ、FISU の国際会議はイタリア・ナポリである。多くの人に会議に出てほしいのと若い人に「案ずるより産むがやすし」という精神で国際会議にどんどん発表してほしいと思う。



FISU の会場にて。写真の国旗はユニバ参加国、地域である。